

令和元年度 ひばり認定こども園自己評価結果

1. 教育・保育の目標

園児一人一人に応じた教育・保育を一体的に行い、心身ともに健康で明るく、たくましい子を育てる。

■ 目指す子どもの姿

- げんきにあそぶ子
- あいさつのできる子
- おもいやりのある子
- じぶんのことはじぶんでできる子

2. 重点的に取り組む目標・計画

- 安全教育の徹底と基本的生活習慣の形成に努める。
- 地域の施設や自然を積極的に活用する等、園内外における活動を強化し、人や自然を愛する心を育てる。
- 教員研修の継続的実践と資質の向上を図る。
- 幼小連携活動に積極的に参加し、関係機関との連携を密に取り合い、小学校への移行がスムーズに行えるようにする。
- ホームページや園だより等を活用し、地域との連携を深める。

3. 評価項目の達成及び取組状況

評価項目	結果	取組状況
認定こども園教育・保育要領に基づき、園児の実態に即した指導計画が作成されている。	B	園内研修等において、本園の園児の発達段階に応じた教育課程・指導計画の見直しを行い、作成を行っている。
指導計画により、計画的に教育・保育が行われている。	A	指導計画の見直しを行い、達成に向けて計画や評価・改善がなされ、計画的に教育・保育が実践できた。
教育・保育に適切な環境が構成されている。	A	年齢に即した環境構成の大切さを再確認し、園内研修の研究テーマを「おもわず体を動かしたくなるような環境づくりを目指して」と設定し、職員間で情報を共有しながら教育・保育を進めることができた。
規則正しい生活習慣の定着に向けての指導が行われている。	B	園児の発達や生活リズムに配慮し、一人一人に応じた援助を心がけ、生活習慣の定着に向けての指導を行った。
職員の資質向上に係る取組について	A	園内研修等において、保育の見直しや検討を行い、自分自身の保育を振り返ったり職員間で情報を共有したり専門性を高め合い、資質向上に繋げていった。
幼小連携に係る取組について	A	こ小中連携会議への参加や学校訪問、園訪問、のびのび発達訪問等で小学校との情報の共有を行い、円滑な接続を図った。
安全管理の取組について	B	避難訓練や交通安全教室の定期的な実施及び施設内外の点検を行い安全管理に取り組んだ。また、緊急時の対

		応マニュアル等を作成・検討し訓練を行っている。
子育て支援事業について	B	保育参観や個人懇談、幼児教育学級、親子読書教室等を実施した。
情報の公開・発信について	B	ホームページ・一斉メールの送信、毎月の園だより・保健だよりの発行、保育参観・クラス懇談の年2回実施等を通して情報の公開・発信を行った。

※評価結果の表示方法

A	十分達成されている
B	達成されている
C	取り組まれているが、成果が十分でない
D	取組が不十分である

4. 今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取組方法
保育教諭の資質向上	園内研修の内容の充実を図り、資質向上を図る。 外部研修の機会があれば積極的に参加する。
幼小連携	各小学校と連携を取り合い、情報の共有を行うことで、円滑な接続が図れるように努める。
情報の発信	ホームページ・一斉メール・園だより等で園の情報を発信し、保護者との連携が図れるようにする。

令和2年3月31日

評価者

那珂川町立ひばり認定こども園

園長 永森 あつ子